

IN ACTION

インフォメーション

川崎市市民ミュージアム

インフォメーション

こどもの頃から
たくさん遊んだ
ミュージアム
ありがとう

みんなが
いすすたよ
いすもたすた
ことかいい
いすまで
ありがとう



Vol.3

FREE PAPER

この近くで育ちましたの
ろい高校生のときにこの
川崎市市民ミュージアムが
55歳になった今、なつかしくて
来ています。残念です

Kawasaki City Museum Information



15歳と2
んミュージアム
ありがとう

第3号 2025.9

開催日時：令和7年3月29日(土)

等々力緑地にある川崎市市民ミュージアムの旧施設の中庭で「光と音とアートな館謝祭」を開催しました。令和元年東日本台風による被災で突然にドアが閉ざされた旧施設。令和7年度中の解体を前に、市民の皆さんと一緒に建物に感謝を伝えたいとイベントを企画したのです。当日は荒天ながら800名以上の方が来場。ワークショップや展覧会チラシの展示などで、旧施設で過ごした思い出を共有しました。

しかし、思い出は旧施設開館前にも生まれていたことをスタッフは思い知ります。旧施設の外壁タイルに思い出を書いて持ち帰るワークショップ「こねくとするC」の準備のとき。剥がしたタイルの面取りを石材業者に依頼したのですが、作業員さんの一言にスタッフは驚きました。

「ここ(旧施設のエントランス)のタイルは、オレが張った。」

なんと旧施設建設時に作業されていた方だったのです。難しい作業だったが頑張ったのだと、しみじみ。実際、ワークショップには旧施設の建設に関わった方が数名も参加されていて、この建物は開館前から愛されていたのだと感じました。

新しい建物の完成までにはまだ時間を要しますが、ミュージアムは活動中(IN ACTION)！ これからも新たな思い出を皆さんと一緒に作っていききたいと思います。

(学芸員：奈良本真紀)

館謝祭
ダイジェスト
動画

サンクスエスタ
館謝祭で思い出を共有—愛され続けた旧施設



イベントでは、過去の展覧会チラシ紹介や、思い出をガラスに書き込むワークショップも実施



旧施設のエントランスのタイル



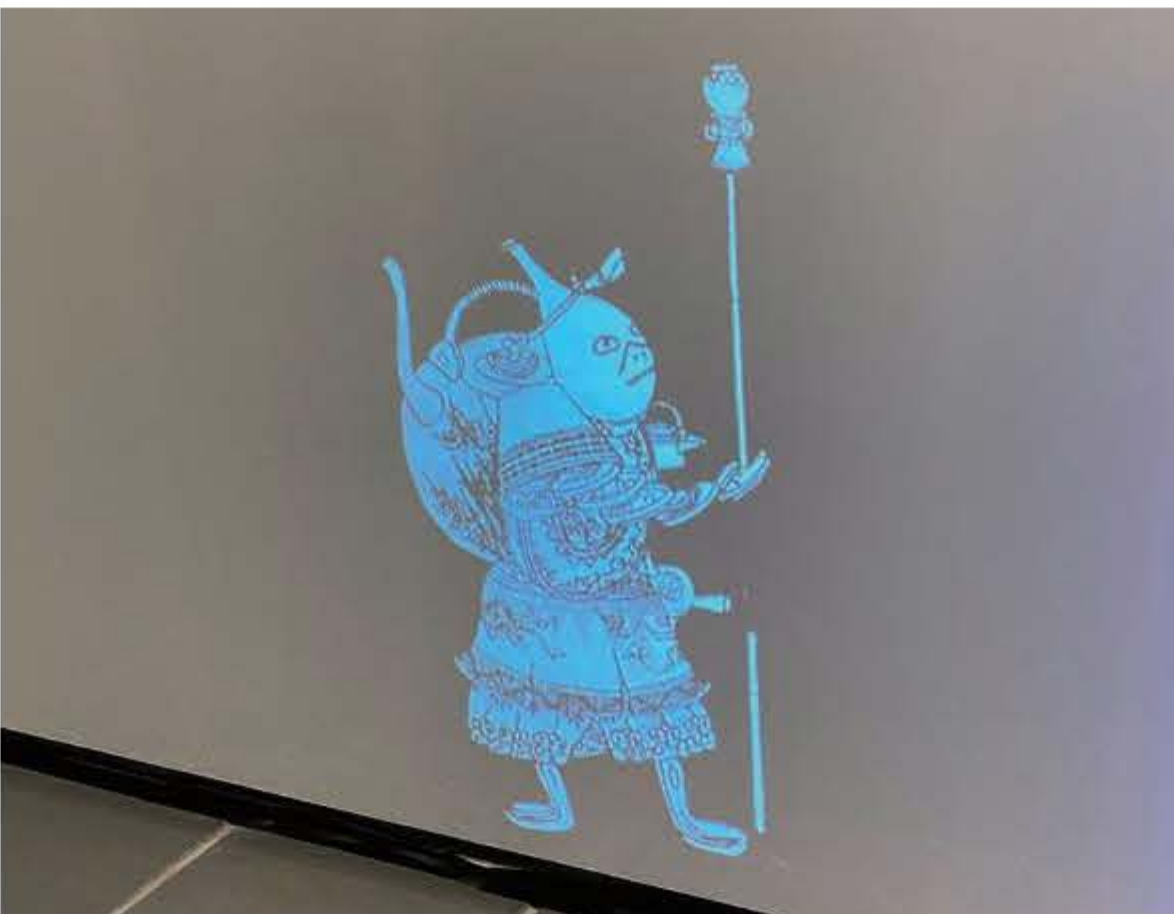
旧施設を上から見た「C」のかたちに残された外壁タイル



頑張ってデザインしたあやかしカード



机の下で格闘中



推しの瀬戸大将

開催日時：令和7年6月21日(土)－8月31日(日)

初めて企画した「あやかしさがし」は大山街道ふるさと館と高津市民館を会場とし、館内のいたるところに隠れているあやかしを見つけ、謎を解くイベントでした。難しかったのは、あやかしを出現させる方法。最初は「人感センサーライトで影絵を映す!」と意気込んでいましたが、いざ試してみると全く絵が映らない。それから毎日、机の下で実験しては失敗し、光源を絞ったり、紙の種類を変えたり、ライトを解体したり…。試行錯誤の末、ようやくとり着いたのがプロジェクターを活用した方法です。

すると次は画像や動画の編集の嵐!! 色々な場面で先輩方に支えられ、私にとってたくさんの経験を積むことができた濃い企画でした。ちなみに、私の推しのあやかしは瀬戸大将です。(学芸員：渡部仁美)

【企画展】むかしのくらしー1950年代の日常ー関連イベント「あやかしさがし」の裏側

「飛び出すほどうれしい!」

今夏、市民ミュージアムはスタッフTシャツを製作しました。デザイン画を描いたのは、川崎市幸区にある生活介護事業所 studio FLAT 所属のアーティスト、KOTONEさんです。冒頭の言葉は、完成したTシャツを届けた時の彼女のひと言。もともと絵が上手だったKOTONEさんですが、社会人として絵を仕事にし、作品が売れたり製品化されたりするなかで成長を感じると、studio FLAT 代表の大平暁さんは言います。

赤い布地に個性的な絵が目を引くこのTシャツ。スタッフがミュージアムを飛び出し様々なイベントで絶賛着用中です。ご注目ください! (学芸員：奈良本真紀)

studio FLATさんへのインタビュー、Tシャツデビューイベントの詳しい様子はコチラから



デザイン画を描いた KOTONE さん(右)と studio FLAT 代表の大平さん(左)



KOTONE さんの絵を選んだ広報部門長の満面の笑み! (令和7年6月「しんゆりまちなかラウンジ」@川崎市アートセンター)



完成したTシャツ

Tシャツで飛び出して

開催日時：令和7年5月3日(土)・4日(日)
参加者：小学3-6年生と保護者

「コンサバター」とは、日本語では「修復家」などと呼ばれる文化財の修復を担う職業。汚れたり壊れたりした物はどうやって直すの? というテーマで、当館の被災や収蔵品の修復に関心を持ってもらうこと、ミュージアムにはどんな役割があるのか体験を通して学ぶことを目的に開催しました。館の資料を観察した後、講師の先生が用意してくれた物のクリーニングに挑戦! 最後まで集中して取り組む様子が印象的でした。アンケートには「また、もう一回やりたかりました」といった感想が。このワークショップをきっかけに、ミュージアムや文化財、その修復に関心をもってもらえるといいと思います。

(学芸員：杉浦央子)

よく見て・調べて・発見しよう! を開催しました



当日使用した石膏像やお茶碗など



講師の先生が普段使っている修復の道具。会場に作業場を再現してくださいました



ミュージアムの資料を見て気づいたことを発表中



高津区民祭でのオープンハウス型説明会の様子(令和7年7月)

新たなミュージアムの整備に向けた市民協働の取組として、市民の皆様に広く周知・広報を行うとともに、「新たなミュージアムに期待すること」等について御意見を伺うため、各区で実施されている区民祭等のイベントに出展し、オープンハウス型説明会を開催してきました。

説明会では、新たなミュージアムが開設される「生田緑地ばら苑及び周辺区域再整備エリア」での機能・施設等の配置について、期待することや配慮すべきことなど、シール投票によるアンケートを実施し、いただいた御意見を踏まえ、整備に向けた取組を進めています。

みんなでつくろう! 新たなミュージアム

天体戦士サンレッドN × 市民ミュージアム

川崎市

コラボ版

フロシャイム 旧川崎市市民ミュージアム最後の日に現る

作：くぼたまこと

ありがとう旧川崎市市民ミュージアム！
でも別れは新しい出会いの始まり！ ね!!

作者コメント

僕の川崎市市民ミュージアムの思い出は鳥山明の世界展を見に行った事です。当時はまだ下積み中でプロの原稿に圧倒されました。

サンレッド

正義の味方なのに柄が悪い
いつも普段着

ヴァンプ将軍

悪の組織フロシャイムの将軍
お人好し

カーメンマン

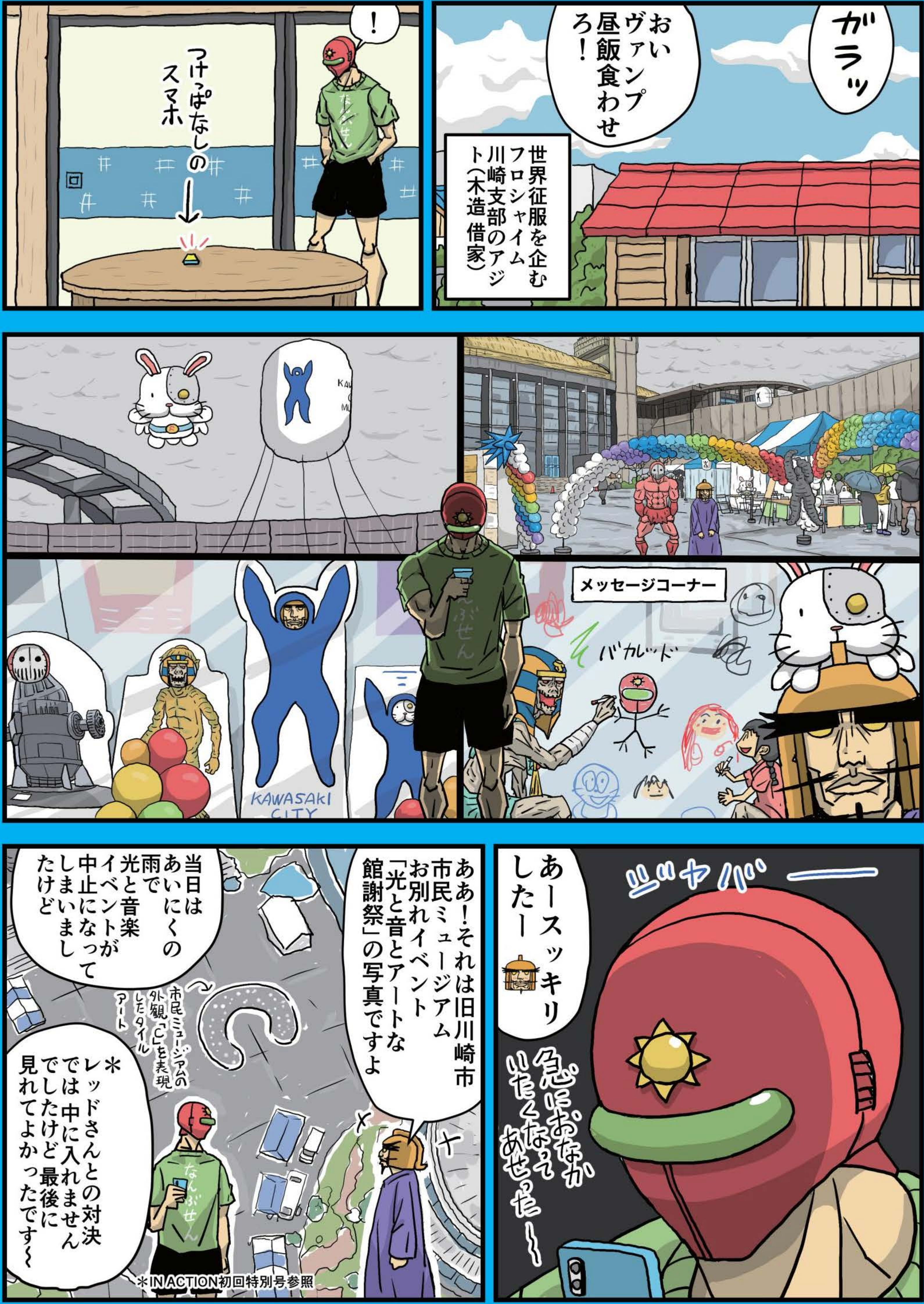
フロシャイムの
ミイラ型の怪人

ウサコッツ

フロシャイムの
ぬいぐるみ型の怪人

メダリオ

フロシャイムの
ヒト型の怪人



「天体戦士サンレッドN」とは、川崎市高津区あたりで繰り広げられる正義と悪の戦いの物語である！
(しかし怪人たちと正義の味方は普段は川崎市民として生活をしている)

『ヤングガンガン』（スクウェア・エニックス）にて、2004年創刊号から2015年1号まで「天体戦士サンレッド」として連載された。
続編の「天体戦士サンレッドN」を作者の自費出版で製作。2019年9月に電子書籍、2020年1月に書籍版を発売。

●レッドさんもお誘いしようと電話したんですけどお出にならなかったんでbyヴァンプ

編集後記

ようやく『IN ACTION』Vol.3を皆様のお手元にお届けすることができました。今号の表紙には、令和7年3月に旧市民ミュージアムの中庭で開催した「光と音とアートな館謝祭（サンクスフェスタ）」において、悪天候の中ご来場いただいた皆様が建物のガラス面に書いてくださったメッセージを掲載しています。旧市民ミュージアムとはこれでお別れとなりますが、皆様からの温かいメッセージを胸に、新しい建物が完成するまで、引き続き市民ミュージアムは『IN ACTION』（活動中）です！